

令和7年度 門真市立こども発達支援センター 指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和6年度

施設のサービス水準の視点 コメント

利用者へのアンケート調査において、全ての調査項目について8割以上の利用者が「非常に満足」又は「満足」と回答している。また、利用者からの意見や要望に対しても、利便性の向上や職員の対応等できる範囲で改善しており、利用者に寄り添ったサービス提供ができていると評価する。引き続き利用者からサービスの改善・拡充等の要望について内容を精査、方策を検討し、必要に応じて市と協議を進める等、提供するサービスの改善に努められたい。

収支状況 コメント

支出について、運営初年度であったことから備品の購入等想定されていなかった又は想定を大きく上回った支出費目があったものの、全体を見ると予算内に収まっている。しかし収入については、予算を大きく下回る事業が複数あった為、収支としては約1,000万円の赤字となっている。令和7年度より放課後等デイサービスにおいて集団療育の導入を予定している等、利用者枠の増加が見込まれる事業もあるため、更なる利用者数の確保に努め、収支が改善されることを期待する。

市による総合評価 コメント

収入について、予算を大きく下回る事業が複数あり、収支は赤字となっており、利用者数の確保による収入の確保が課題となる。放課後等デイサービスの集団療育の導入等、拡大する事業もあるので、より収支を意識した管理・運営に期待する。しかしアンケート調査の結果については、8割以上の利用者が「非常に満足」又は「満足」と回答している。また、職員の丁寧な対応や口座引き落としの導入、ICTシステムを活用した情報提供による利便性の向上等、できる範囲で利用者のニーズに応えられるよう対応しており、利用者に寄り添ったサービスが提供できていると評価する。今後も引き続き、利用者に寄り添い、安心して利用いただける施設の運営を期待する。以上の理由により、概ね協定事項等の水準どおり施設が運営されている判断した。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった